

## 一般質問発言通告書

議席番号 16番

氏名 笹田 卓

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

## 1 活力のある産業を育て雇用をつくるまちについて

市長は施政方針において、浜田漁港の水揚量の増大を最重要課題と位置付け、地元漁船の存続に取り組むと明言された。その決意を重く受け止め、浜田の基幹産業をどう立て直していくのかという観点から、以下伺う。

## (1) 漁業の再生について

- ① 水揚量増大に向け、これまでの施策を踏まえつつも、市長として特に重点を置こうとされている取組や新たに打ち出そうとしている方向性について、見解を伺う。
- ② 地元漁船の存続に向け、現時点で最も重要と認識されている施策について、その優先順位の考え方も含め、市長の認識を伺う。
- ③ 水産業の付加価値向上に向け、民間事業者（三陽、プロキシマー等）との具体的な連携提案や協議を、市として積極的に進める考えはあるのか。その方向性を伺う。
- ④ 将来の浜田の漁業を、量の確保を軸として再生していくのか、あるいは付加価値型への転換をより重視していくのか。今後10年を見据えた基本戦略の方向性について、市長の認識を伺う。

## 2 夢を持ち郷土を愛する人を育むまちについて

## (1) 石見神楽の将来像について

市長は施政方針において、石見神楽の保存・継承に取り組むと位置付けられた。浜田の象徴的存在であるとの認識に立ち、以下伺う。

- ① 浜田をどのような「神楽のまち」として国内外に発信していきたいと考えているのか。石見神楽の伝承の在り方も含め、市長が描く全体像を伺う。
- ② その将来像を実現するために、観光振興やまちづくりとどのように結び付け、具体的な施策を展開していく考えなのか伺う。

## (2) 郷土資料館の建替えについて

市長は施政方針において、郷土資料館の建替え整備に取り組むと明言された。文化行政の方向性を示す重要な判断であるとの認識から、以下伺う。

- ① 郷土資料館の整備について、単独での建替えを基本とするのか、他の公共施設との複合化を視野に入れるのか、市長として現時点での基本的な方向性を示す考えはあるのか伺う。

② 本整備を通じて、浜田の歴史や文化資源をどのように次世代へ継承し、まちづくりに生かしていこうとしているのか。その将来像を伺う。

### 3 生活基盤が整った快適に暮らせるまちについて

#### (1) 公共交通について

市長は施政方針において、持続可能な公共交通体系の構築に取り組むと明言された。人口減少社会を前提に、以下伺う。

① 現行路線の維持にとどまらず、運行体系そのものの見直しや新たな仕組みの導入も含めて検討する考えはあるのか伺う。

② その見直しにより、市民の移動環境をどのように変え、どのような地域像を実現したいと考えているのか伺う。

#### (2) 下水道と浄化槽について

市長は施政方針において、将来を見据えた生活基盤の在り方を検討するとされた。長期的財政運営の観点から、以下伺う。

① 現行下水道事業完了後の方向性として、新規拡張を抑制し、浄化槽中心へ段階的に移行する可能性について、市長はどのように考えているのか伺う。

② その方向性が将来の財政負担や地域生活環境に与える影響を、どのように見通しているのか伺う。

#### (3) 地域医療について

市長は施政方針において、人口構造の変化に対応した医療体制の構築に取り組むとされた。将来世代への責任という観点から、以下伺う。

① 将来にわたり維持すべき医療機能について、どのように整理し、優先順位を考えているのか伺う。

② その体制を構築することで、市民にどのような安心を確保できると考えているのか伺う。

### 4 協働による持続可能なまちについて

#### (1) 駅前周辺整備について

市長は施政方針において、浜田駅周辺のグランドデザイン策定に着手するとされた。中心市街地の将来を左右する重要課題として、以下伺う。

① 浜田駅前をどのような空間として再構築していきたいと考えているのか、市長自身の言葉で伺う。

② その整備を通じて、浜田をどのような都市へ導いていこうとしているのか伺う。

#### (2) 三桜酒造跡地について

市長は施政方針において、三桜酒造跡地の利活用を検討するとされた。中心市街地再生の象徴的課題であるとの認識から、以下伺う。

① 当該跡地を中心市街地の中でどのような役割を担う場所として位置付けようとしているのか、市長の構想を伺う。

② その活用により、中心市街地にどのような変化をもたらし、どのような未来像を描こうとしているのか伺う。

## 5 教育方針について

### (1) 学校の適正配置について

教育長は教育方針において、少子化を見据え学校統合や適正配置、あわせて学校給食施設の統合再編を検討するとされた。子どもの教育環境を最優先とする観点から、以下伺う。

① 少子化が進行する中で学校統合や適正配置、給食施設の再編を検討するにあたり、教育の質の維持・向上を最優先とする基本理念に立ち、その実現に向けた判断基準を明確にした上で進めるとの方針であると理解するが、教育委員会として最も重視する判断基準は何か伺う。

② 地域の理解を得る努力を尽くすことは当然としても、子どもの教育環境の維持・向上のために必要と判断した場合には、地域の了解が十分に得られていない段階であっても、実行の判断を行う局面があり得ると考えているのか。その基本姿勢を伺う。